



# アヤメ

じつは3年前の本欄でも紹介しましたが、そのときよりぐっと株も成長しています。関南町、北茨城高校の南側の山麓。新しい農道ができて少しわかりやすい場所になりました。紫色の花が先に開いて、その後に白い花が楽しめます。

# 福祉・暮らしの充実を

## 新病院は医療・福祉の併設を

第2回定例会  
6月議会

### 福田明議員の一般質問から

6月12日におこなった福田明市議の一般質問の概要を報告します。

#### どの制度でも障害者の医療費は無料に

「福田明議員」後期高齢者医療制度の実施にともない、重度障害者（65～74才）のマル福（医療費無料）の適用が同制度の加入者のみになった。この問題で県から各市町村宛に意向調査があったが、本市の回答はどうか

あつたか。

「市民福祉部長」県北9自治体と対応を協議して、「後期高齢者医療制度に加入しない者は対象としない」と回答した。

「福田」その結果、県は同制度への加入者のみをマル福の適用とした。障害者などの医療制度に入っているも従来と同じくマル福を適用すべきである。

#### 介護者への心の支援策を

「福田」介護している方から「家族だけでは、滅入ってしまう。同じ悩みを抱えている人たちの交流などができれば、気分的にどれだけ助かるかわからない」と要望されたが、この間の支援策の実施状況はどうか。

「市民福祉部長」毎年、講演会には約350人が参加している。また介護者を対象にしたリフレッシュ事業は年々参加者が少なくなっている。

「福田」リフレッシュ事業については、案内方法として介護慰労金の受給者に連絡するなどの改善が必要ではないか。

#### デマンドタクシー

「福田」「必要なときに手軽に利用できるデマンドタクシー（玄関口から玄関まで）を導入してほしい」との要望がつよい。市は、巡回バスの再評価委員会を再編して検討したいとしているが、準備状況はどうか。

「市長公室長」9月頃までには立ち上げていきたいと考えている。

「市長」デマンドタクシーについては、当面は高萩協同病院と市立総合病院に通う患者を対象に試験的に運行しようと考えている。

#### 新病院は涌谷町方式で

「福田」私は昨年12月議会でも、宮城県涌谷町の町立病院が医療と福祉施設を併設している例をあげて、「ぜひ市長も機会があれば視察して市立病院建設の参考にすべき」と提案したが、その後、市長は涌谷町の病院を視察したと聞いている。涌谷町の視察の感想と、病院建設の方向は医療と福祉を

最近、水泳の水着問題が決着した。「泳ぐのは水着ではなく、自分だ」と言っていた北島選手も、やはり「スピード社」の水着でオリンピックに出場するという。この決定に安心した国民も多いだろう。が、しかし、「泳ぐのは、あくまで自分」を貫き通して、水着は従来のもを着用して出場する。その結果、金メダルが取れなくても、一言「私の実力不足です」とだけ述べて、言い訳は一切言わない。こんな生き方をする日本人がひとりぐらいいても良いのではないかと、ふと思う。たとえ金メダルを獲得しても「やはりスピード社の水着は凄かった」と言われるよりも、よっぽど国民に感動を与えるに違いないと考えるのは、私だけだろうか。

北茨城市議会議員  
福田明

### アベベは本当に強かった

であることは勿論だが、それプラス、有能なトレーナーと用具が絶対条件の時代になってしまったのだろうか。

かつて男子マラソン界にオリンピック2連覇を果たしたエチオピアの英雄アベベがいた。60年のローマ大会ではまったくの無名だったが、裸足でかけて当時の世界最高記録で優勝。それも、あの有名な石畳を、である。「貧しくて靴が買えなかった」という、この伝説を私は小学校の教科書で知った。続く東京大会では、大会6週間前に盲腸手術を受け、ろくな練習もできなかつたが、競技場を出るなり独走で圧勝した。この光景を見て、私は子供心にもアベベの大ファンになった。そして「本当にアベベは強かった」。

今、マラソン界に裸足で完走しきれぬ選手が何人いるだろうか。おそらく皆無だろう。北京オリンピックまであとわずか。アベベのように、相手とどんな立派なシューズを履こうが、水着をつけようが、悠然と受けて立って勝利する、そんな選手こそ、本当に強い選手だと私は思う。

併合した方向でいきたいと考えているのかうかがう。

「市長」涌谷町は、生まれながら責任をもつという点で感銘を受けた。病院建設をおこなうとすれば、涌谷町のように医療と福祉施設を兼ね備えたものが良いと考えている。